

項番	対応	質問	回答種別	選択肢
貴事業所・施設の人材や業務に関することについてお伺いします。				
1		令和8年4月1日時点における貴事業所・施設の従業員数を雇用形態別にお答えください。 常勤職員：週40時間 勤務者 非常勤職員：週40時間未満 勤務者	数字	①常勤職員（ ）人 ・うち外国人（ ）人 （※「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」・特定技能により勤務している人数を教えてください。） ・うち派遣職員（ ）人 ②非常勤職員（ ）人 ・うち外国人（ ）人 （※「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」・特定技能により勤務している人数を教えてください。） ・うち派遣職員（ ）人
2	追加	令和8年4月1日時点における貴事業所・施設の介護職員常勤換算数をお答えください。 ※常勤換算数＝常勤職員（週40時間勤務者）数＋（非常勤職員の勤務時間合計 ÷ 40時間）	数字	介護職員 常勤換算数（ ）人
3		令和7年4月～令和8年3月の間に貴事業所・施設に入職された方の人数をお答えください。	数字	① 常勤職員（ ）人 ② 非常勤職員（ ）人
4		令和7年4月～令和8年3月の間に貴事業所・施設を退職された方の人数をお答えください。	数字	① 常勤職員（ ）人 ② 非常勤職員（ ）人
5		貴事業所・施設に入職された方の主な採用ルートはどれですか。	複数	1. ハローワーク 2. 福祉人材センター 3. 事業所の掲示 4. ホームページ 5. SNS 6. 実習の受け入れ 7. 学校訪問 8. 養成校からの推薦 9. 職員からの紹介 10. 合同説明会への出席 11. 求人情報誌 12. 求人サイト 13. 新聞折り込み広告 14. 人材紹介会社 15. その他（ ）
6		採用に係る費用負担（月額）についてお答えください	単一	1. 0円 2. 1円以上～10万円未満 3. 10万円以上～20万円未満 4. 20万円以上～40万円未満 5. 40万円以上～60万円未満 6. 60万円以上～80万円未満 7. 80万円以上～100万円未満 8. 100万円以上

項番	対応	質問	回答種別	選択肢
7		（項番1で外国人介護職員がいると答えた方におうかがいします。） 外国人介護職員について、下記の受け入れの枠組み毎に人数をご記入ください。	数字	① EPA介護福祉士として（ ）名 ② 外国人留学生 在留資格「介護」として（ ）名 ③ 外国人技能実習生として（ ）名 ④ 在留資格「特定技能」として（ ）名 ⑤ その他（ ）（ ）名
8		（項番1で外国人介護職員がいると答えた方におうかがいします。） 外国人介護職員について、国籍名とそれぞれの人数をご記入ください	数字	① フィリピン （ ）名 ② ベトナム （ ）名 ③ インドネシア （ ）名 ④ 中国 （ ）名 ⑤ ネパール （ ）名 ⑥ 韓国 （ ）名 ⑦ ミャンマー （ ）名 ⑧ モンゴル （ ）名 ⑨ インド （ ）名 ⑩ スリランカ （ ）名 ⑪ タイ （ ）名 ⑫ カンボジア （ ）名 ⑬ ブラジル （ ）名 ⑭ ブータン （ ）名 ⑮ ナイジェリア （ ）名 ⑯ その他（ ）（ ）名
9	追加	外国人介護職員の受け入れにあたり、どのような課題があると感じていますか。	複数	1. 受入れに対する日本人職員の理解 2. 日本人職員とのコミュニケーション 3. 利用者及びその家族等とのコミュニケーション 4. 利用者及びその家族等の不安感 5. 日本語文章力、読解力の不足（介護記録の作成等） 6. 外国人職員の仕事への取り組み方 7. 介護技術等の理解 8. 外国人職員の宗教や生活支援等への対応 9. 外国人職員の資格取得支援や研修 10. 在留期限前に離職する等定着につながらないこと 11. 介護福祉士を取得できずに帰国すること 12. 外国人職員の受入れに係る費用 13. 課題はない 14. その他
10		「介護助手」を採用したいと思いますか。	単一	1. すでに採用している 2. 採用したい 3. 採用したいとは思わない

項番	対応	質問	回答種別	選択肢
11	追加	（項番10で「1. すでに採用している」と答えた方におうかがいします。） 「介護助手」を採用することでの効果や課題は何ですか	複数	1. 介護職員が専門的な業務に専念でき、業務効率が向上した 2. 職員の業務負担が軽減し、離職防止・定着につながった 3. 人材不足の緩和（欠員補充・人員体制の安定）につながった 4. 未経験者や地域人材など、新たな人材確保につながった 5. 指導・教育や役割分担に手間がかかり、現場負担が増えた 6. 業務範囲が限定的で、期待した効果が十分に得られなかった 7. 経営面でのコストメリットが分かりにくい 8. その他（ ） 9. まだ分からない
12	追加	（項番10で「2. 採用したい」と答えた方におうかがいします。） 「介護助手」を採用するにあたっての課題は何ですか	複数	1. 業務内容・役割分担の整理が難しい 2. 指導・教育にかかる職員の負担や時間を確保できない 3. 介護職員との連携や現場への定着に不安がある 4. 応募者の確保が難しい（人が集まらない） 5. 賃金・人件費の確保が難しい 6. 利用者・家族からの理解が得られるか不安がある 7. 効果が見えにくく、導入判断がしづらい 8. その他（ ） 9. 特にない
13	追加	（項番10で「3. 採用したいとは思わない」と答えた方におうかがいします。） 「介護助手」を採用したいとは思わない理由は何ですか	複数	1. 現在の人員体制で業務が回っており、必要性を感じない 2. 介護助手を活用できる業務が少ない・想定できない 3. 指導・教育や管理に手間がかかり、現場負担が増えると考えている 4. 介護職員との役割分担が難しく、混乱が生じると考えている 5. 費用対効果（人件費に見合う効果）が見込めない 6. 利用者・家族からの理解が得られにくいと考えている 7. その他（ ） 8. 特にない
14		貴事業所・施設における、介護職員配置の過不足状況はどうですか。	単一	1. 大いに不足 2. 不足 3. やや不足 4. 適当 5. 過剰

項番	対応	質問	回答種別	選択肢
15		（項番14で「1. 大いに不足」「2. 不足」「3. やや不足」と答えた方におうかがいします。） 不足を感じる業務は何ですか	複数	1. 食事介助 2. 食事の準備（配膳） 3. 入浴介助 4. 排泄介助 5. 夜勤 6. レクリエーション 7. 通院等外出付き添い 8. 記録書類作成 9. リネン交換 10. 請求等管理事務 11. モーニング/ナイトケア 12. その他（ ）
16		不足を感じる職種は何ですか。	複数	1. 介護職員（身体介護を行う） 2. 補助的介護職員（身体介護以外の見守り・生活援助等を行う） 3. 事務職 4. 送迎運転手 5. 看護師 6. 理学・作業療法士 7. その他（ ） 8. 不足を感じている職種はない
17		不足を感じる業務や職種に対してどのような取り組みを行っていますか	複数	1. 求人活動 2. 時間外労働での対応 3. 労働時間変更や調整 4. 派遣職員の採用 5. 他業務との兼務 6. 同一法人からの異動 7. 利用者の受け入れ制限 8. 事業縮小の検討 9. その他（ ） 10. 特に行っていない
18		貴事業所・施設から離職する理由のうち、主な理由はどのようなことだと思われますか。	複数	1. 能力や実績に照らして、給与（賃金）や手当が低いため 2. 業務量、労働時間、超過勤務が多いため 3. 勤務ローテーションやシフトが不規則なため 4. 有給休暇や特別休暇等が取りにくい 5. キャリアアップ・研修制度・資格取得等の人材育成が不十分なため 6. 人員不足による、個々の責任の負担が大きいため 7. 夜間や深夜時間帯の勤務における緊急対応への不安があるため 8. 介護保険事業に対する社会的評価が低いため 9. 職場の人間関係が難しいため 10. 利用者との人間関係が難しいため 11. 重病の利用者や看取りに対する負担が大きいため 12. その他（ ）

項番	対応	質問	回答種別	選択肢
19		貴事業所・施設において、これまで取り組んだ離職防止や就業定着のための方策で、特に効果が高かったものはどれですか。	複数 3つまで	1. 能力や実績に応じた役職や給与体系（キャリアアップの仕組み）を構築すること 2. 超過勤務手当等の諸手当の支給を充実させること 3. 人材育成のための研修・資格取得制度を構築すること 4. 規則的な勤務ローテーションやシフト体制等を確立すること 5. ICT（電子データによるコンピュータ処理等情報通信技術）等の導入による書類作成の軽減等、事務作業の効率化、省略化を図ること 6. 育児・介護の休暇等の支援体制や資格取得支援等の福利厚生を充実させること 7. 研修や相談体制の確立により、メンタルヘルスケアを充実させること 8. ハラスメントの対策研修 9. 面談等でコミュニケーションを図り、職場内の人間関係を良好にすること 10. 苦情等のトラブル対応への組織的サポート体制を整備すること 11. 特に取り組んだことはない 12. その他（ ） 13. どの方策も効果が上がらなかった
20		人材育成のために、どのような取り組みを行っていますか。	複数	1 能力開発（外部研修の受講）を奨励 2 資格取得に係る研修費用の助成 3 OJTの仕組み化 4 キャリアパスの明確化
21		貴事業所・施設において、利用者又は家族等からのハラスメント行為の発生を把握した時どのように対応します（しています）か。	複数	1. ハラスメントの事実確認を行う 2. 職員に対し今後の対応を明確に示す 3. 職員と具体的対応について話し合う場を設定する 4. ハラスメントの情報を他の施設、事業所と共有し、連携して対応する 5. 再発防止が確認されるまで、複数人で対応する 6. 被害を受けた職員が関わらないように調整する 7. 利用者家族と話し合い再発防止策を検討する 8. 別の事業所等を紹介し、契約解除を求める 9. その他（ ） 10. 特になし
22		ハラスメントの防止に必要な取り組みはどのようなことですか。	複数	1. 利用者・家族への啓発 2. 利用者・家族等と事業所の相互確認 3. 事業所内の情報共有 4. ハラスメント対策に関する法制度の整備 5. その他（ ）

項番	対応	質問	回答種別	選択肢
23		人材確保や職員の定着率を高めるうえで、課題と感じているのはどのようなことですか。	複数	1. 求人経費（広告料、紹介料等）の負担が大きい 2. 求人しても応募がない 3. 人材を確保する手段やノウハウが乏しい 4. 介護業界内で人材が流動的で取り合いになっている 5. 介護業界のイメージアップ 6. 求職者と求人ニーズのマッチングの難しさ 7. 介護実習の際に違和感が生じるなど仕事に就く前と就いた後のギャップ 8. 賃金など労働条件の改善 9. 職場の人間関係の改善 10. その他（ ） 11. 特にない
24		介護職のイメージについて3年前（令和5年）頃と比較して変わったと思いますか。	単一	1. かなり良くなった 2. 良くなった 3. かわらない 4. 悪くなった 5. かなり悪くなった
25		多くの方に介護の仕事の魅力について知ってもらうために、松戸市からのどのような情報発信が有効だと考えますか。	複数	1. YouTube配信（地元高校生や専門学校とのコラボ企画、市内事業所への取材など） 2. イベント（合同就職相談会や映画上映会など） 3. 広報まつど介護保険特集号（介護従事者インタビューなど） 4. 松戸市公式ホームページ 5. SNS 6. その他（ ）
26		松戸市が実施している事業についてお答えください。 ①松戸市介護従事者等スキルアップ研修費用補助金（介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修、生活援助従事者研修、介護支援専門員更新研修Ⅰ及びⅡ）	単一	1. 実績がある 2. 活用したい 3. 活用するつもりはない 4. 制度を知らない
27		②松戸市介護人材育成事業補助金	単一	1. 実績がある 2. 活用したい 3. 活用するつもりはない 4. 制度を知らない
28	追加	③松戸市喀痰吸引研修費用補助金	単一	1. 実績がある 2. 活用したい 3. 活用するつもりはない 4. 制度を知らない
29		④松戸市介護職員等永年勤続表彰	単一	1. 実績がある 2. 活用したい 3. 活用するつもりはない 4. 制度を知らない
30	追加	公益社団法人 国民健康保険中央会が実施しているケアプランデータ連携システムを導入していますか	単一	1. 既に導入し、活用している 2. 既に導入しているが、活用していない 3. 導入したい 4. 導入するつもりはない 5. システムを知らない

項番	対応	質問	回答種別	選択肢
介護サービスについてお伺いします。				
31		今後、高齢になっても住み慣れた地域（住宅）での生活を続けるために、地域において特に必要と思う生活支援はどのようなことですか。	複数 4つ まで	1. 日常的な掃除、洗濯及び炊事等の家事援助 2. ごみ出し 3. 食材や日用品等の買い物代行 4. 草取りや水やり等の庭の手入れ 5. ペットの世話 6. 住民による声かけ、見守り 7. 緊急通報装置等による安否確認 8. 電話等による服薬確認 9. 話し相手（傾聴） 10. 移送ドライバー、通院介護や散歩補助等の外出支援 11. 健康体操や筋力トレーニング等の運動指導、機会の提供 12. 認知症予防のための脳トレーニングや運動教室 13. 地域交流の場として、サロンやコミュニティカフェの開設 14. 弁当や食材配達等の配食 15. 認知症の方の市民後見人等の権利擁護 16. 介護家族等へのアドバイス、サポート 17. その他（ ） 18. 特にない
32		地域住民が介護予防の取り組みを実施するにあたり、貴事業所・施設で協力できることはありますか	複数	1. 場所の提供 2. 物品等の貸出 3. 講師や職員の派遣、体操指導、レクリエーションの企画・実施等 4. 特にない 5. その他（ ）
33		自立支援・重度化防止について、身体状態の維持・改善の状況を評価し、事業者へのインセンティブ（成果報酬）を付与することに関してどのように考えますか	単一	1. 賛成 2. どちらかといえば賛成 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば反対 5. 反対 6. わからない
34		（訪問介護、通所介護を提供している事業所のみお答えください） 介護保険サービスと保険外サービスを組み合わせて提供することについて、どのようにお考えですか。 ※保険外サービスとは、介護保険給付の対象とはならないものの、高齢者のニーズに対応するサービスです。例えば、散歩や趣味のための外出の付き添いや、家族への食事・掃除・買い物等の家事援助、認知症の方の単なる見守り、宿泊サービスなどのことです。	単一	1. すでに提供している 2. 取り組みたい 3. 取り組みたいと思わない 4. わからない
35		（項番34で「3. 取り組みたいと思わない」と答えた方におうかがいします。） 保険外サービスに取り組みたいと思わない理由は何ですか。	複数	1. ニーズがない 2. 人員が足りない 3. 資金が足りない 4. 他に有力な事業所がある 5. ノウハウがない 6. その他

項番	対応	質問	回答種別	選択肢
地域連携についてお伺いします。				
36		今後、連携がより必要と考えるのは、どのような関係機関・関係者ですか。	複数	1. 介護分野の関係機関・関係者 2. 地域包括支援センター 3. 松戸市在宅医療・介護連携支援センター 4. 子ども分野の関係機関・関係者 5. 障害分野の関係機関・関係者 6. 生活困窮分野の関係機関・関係者 7. 町会・自治会 8. 民生委員・児童委員 9. 民間企業等 10. その他（ ） 11. 特になし
37		地域包括支援センターに困難対応事例や虐待（疑い含む）事例等について相談したことがありますか。	単一	1. 過去1年以内に相談した 2. 1年以上前だが相談したことがある 3. 相談したことがない
38		貴事業所・施設では地域包括支援センターが主催する研修や会議に参加していますか。	単一	1. 定期的に参加している 2. ある程度、参加している 3. 参加したことがない
39		貴事業所・施設では地域ケア会議にどのくらい参加していますか。	単一	1. 定期的に参加している 2. ある程度、参加している 3. 参加したことがない 4. 地域ケア会議を知らない
40		医療機関・医療関係者との連携は図れていますか。	単一	1. 十分できている 2. 概ねできている 3. あまりできていない 4. できていない
41	追加	（項番40で3. あまりできていない4. できていないと答えた方におうかがいします。） 連携があまりできていない、できていない理由は何ですか	複数	1. 医療機関側の担当者や窓口がわからない・連絡がとりにくい 2. 連携に必要な情報（診療内容、退院時情報など）が共有されにくい 3. 介護側と医療側で支援の目的や役割の認識に差がある 4. 日常的な連携や情報交換の仕組み（会議・ICT等）が整っていない 5. 急な対応や相談に応じてもらいにくい・時間的余裕がない 6. 医療・介護連携に関する地域全体の体制やルールが十分に整備されていない 7. その他（ ）

項番	対応	質問	回答種別	選択肢
42		医療機関・医療関係者とさらなる連携を図るために、必要と感じていることは何ですか。	複数 3つ まで	1. 利用者について医療と介護関係者間で情報共有ができるシステム（連携シートやICT） 2. 医療従事者を含めた多職種でのカンファレンス・会議等の機会 3. 市民への在宅医療についての啓発 4. 在宅医療を提供する医療機関・薬局・訪問看護ステーション等の情報 5. 利用者が入院した際に入院先医療機関との情報共有 6. 利用者の退院にむけた入院先医療機関とのカンファレンスの実施 7. 24時間連絡を対応可能な在宅療養支援病院・診療所の充実 8. 市民へのACP*（アドバンス・ケア・プランニング）についての啓発 ACP*：人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセス 9. 医療・介護関係者間での利用者のACPIについての情報共有 10. 介護関係者におけるACPの学習機会 11. その他（ ） 12. わからない
43		（入所施設の方のみご回答ください。） 配置医師・協力医療機関についてお答えください。	単一	1. 市内の医療機関である 2. 市外の医療機関である
44		（入所施設の方のみご回答ください。） かかりつけ医のいる方が入所された場合、その後に担当する主治医について、どのような体制をとっていますか。	単一	1. 主治医は配置医師・協力医療機関に交代することが多い 2. 主治医は配置医師・協力医療機関に交代せず、それまでのかかりつけ医が可能なら引き続き担当することが多い
45		共生型サービスについて関心がありますか。 ※共生型サービスは、同一事業所において、介護保険サービスと障害福祉サービスの両方を提供しやすくすることを目的とした指定手続きの特例として設けられた制度です。	単一	1. 非常に関心がある 2. ある程度関心がある 3. あまり関心がない 4. 全く関心がない

項番	対応	質問	回答種別	選択肢
松戸市への要望についてお伺いします。				
46		貴事業所・施設の経営者・管理者として、松戸市に対して望むことはどのようなことですか。	複数 3つ まで	1. 介護保険に関する最新・適切な情報提供 2. 介護従事者のスキルアップ（育成）のための研修の支援 3. 介護従事者の確保・定着のための支援 4. 給付管理等に関する相談体制の充実 5. 事業所への指導・監査等の徹底 6. 市民への自立支援や適正なサービス利用についての啓発 7. 処遇困難者への対応 8. 事務手続きの簡略化 9. ボランティアの育成 10. 家族等介護者支援の充実 11. 地域包括支援センターの対応力向上 12. 多職種連携への支援 13. 医療介護連携への支援 14. 人材育成事業の充実 15. 介護職員の表彰制度 16. 介護助手等補助者に関する支援 17. 災害・感染症対策の支援 18. その他（ ） 19. 特にない
47		最後に高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。	自由 記載	自由記載